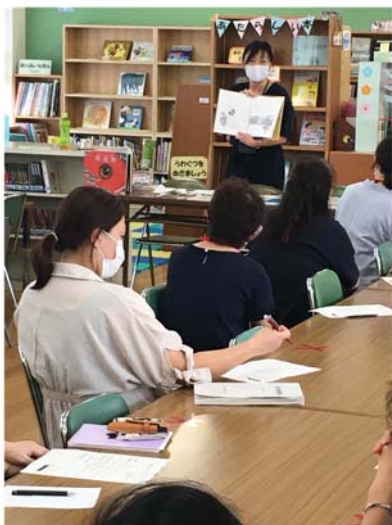


Hello! 学校図書館

今月は南区の南部に位置する弥永西小学校で行われた「ブックトーク」研修と、図書館の工夫を紹介します。

弥永西小学校は、児童数447人、17学級の学校です。8月末の猛暑の中の訪問でしたが、校長先生を始め先生方の爽やかな笑顔に迎えられ、図書室まで案内していただきました。

研修の初めに校長先生から「本がきれいな子どもがいるだろうか、本との出会い、本の与え方で、子どもたちの本に対する思いは変わる・・・」というお話があり、今回の研修が出席者全員にとって大変意義深いものとなりました。



「ブックトーク」工夫のポイントは3つ

1. テーマ(低中学年はできるだけ具体的なもの)
2. キーワード(本と本をつなぐもの)
3. 本のジャンル(できるだけさまざまな種類の本を)

ブックトークとは「一つのテーマにそって、数冊の本を順序よく、上手に紹介すること」ですが、単なる本の紹介ではありません。ブックトークの目的はブックトークのあと、子どもたちが実際に本を読むことにあります。その場を楽しくするとか、面白い話を聞くということだけでなく、紹介した本を読んでもらうそのために本の話をするのがブックトークです。子どもたちが本を実際に手に取って、さらに自分で読むという目的は簡単には達成できません… (読書相談員重村さんの話より)

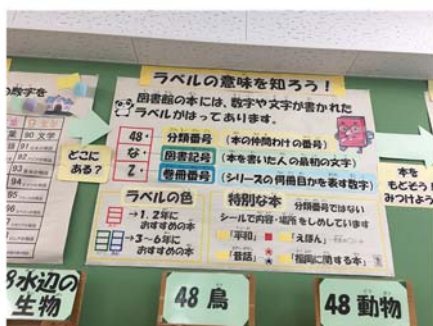


ブックトーク実演の後、たくさんの先生方が研修で紹介した本の周りに集まって来られました。また、「ブックトーク」実践に向けての質問もたくさん出ました。

子どもたちへの「ブックトーク」が楽しみです!



○貸し出しの仕方が分かるさまざまな工夫



図書館のやくそく、地図など、子どもたちが図書館を利用しやすい工夫が分かりやすく掲示されています。



○ あたたかい配架の工夫



すっきりとした配架，そしてあたたかいコーナーと，子どもたちが読書に親しみやすい環境づくりがされています。図書館の環境は，子どもたちの読書活動の推進を図る重要な要素です。